

平成22年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物損傷事故）

事故概要：

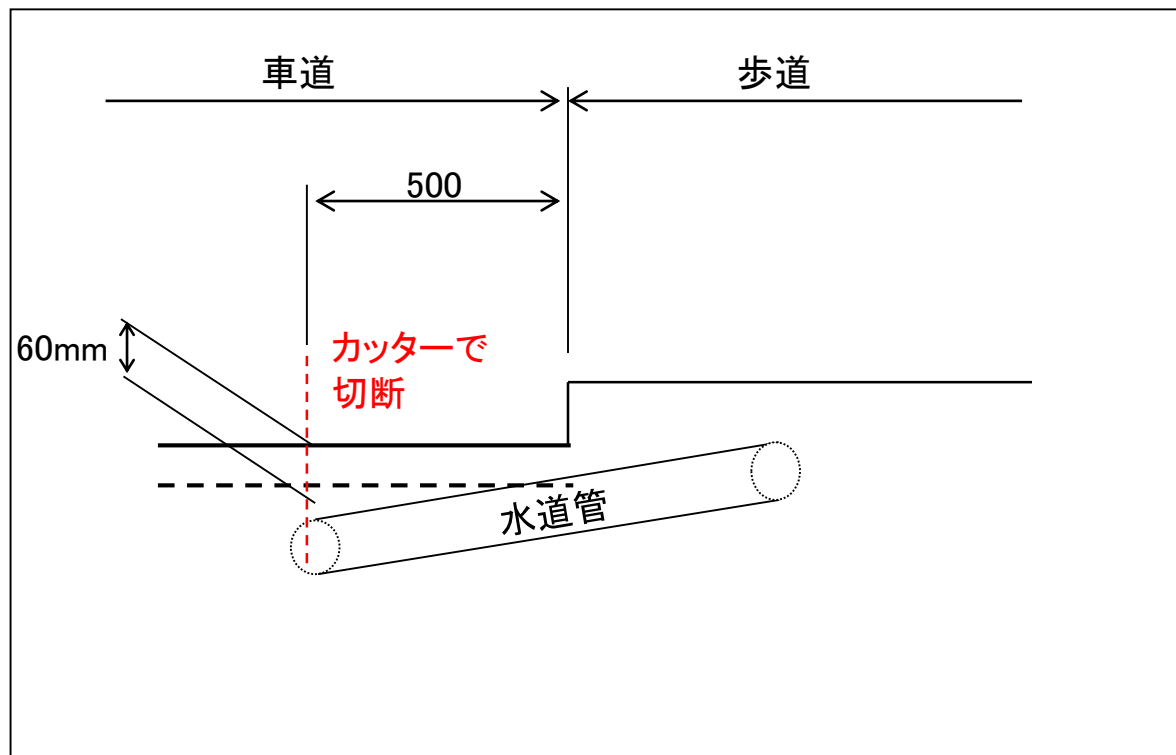
県道の路肩部にある既設円形水路を撤去する前段階として、車道舗装にアスファルトカッターを入れていたところ、埋設されていた上水道管を切断した。

事故原因：

水道管の埋設場所と手渡された配管図面で相違があった

改善対策：

占有者との現地立会のもと試掘を行い埋設状況の確認を行う



分類：取壊工、AS切断

被害状況：別の水道管があり断水被害はなし

令和2年度に建設工事で発生した事件事例（交通事故）

【事故概要】

路敷設工事において、細かく舗装版を切断したうえ長期間放置していた。このため、通過車両の衝撃により四分五裂した舗装版の一部が路面より5cm突出した状態となり、そこを通過した車両がパンクした。

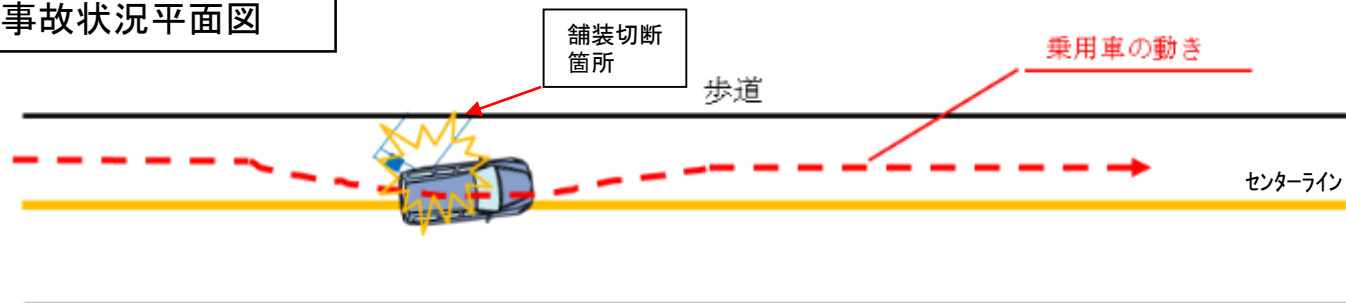
【事故原因】

- ・9月舗装撤去の計画にも関わらず、7月に当該箇所の舗装版切断を行ったこと。
- ・掘削時にバケットの爪を入れる口切り部を設けるため、舗装版を幅13cm、長さ1m余りの細長い形状で切断した状態で、長期にわたり放置したこと。

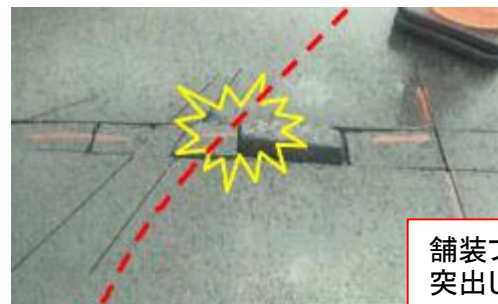
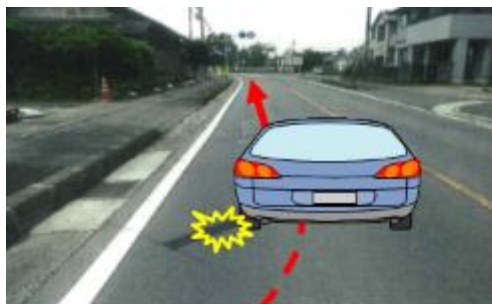
【改善対策】

- ・細かく舗装版切断を行う場合は、原則取壊し当日に施工し、舗装版切断後、速やかに取壊しに着手する。
- ・交通開放する場合は、舗装版切断後、路面状況を複数人で確認した後開放する。
- ・舗装版切断前後の写真を発注者に提出し情報共有する。

事故状況平面図



事故発生時の状況



舗装ブロックが突出した状態

【分類】 取壊し AS切断

【被害状況】 公衆災害 一般車両1台 タイヤパンク